

2025 年度

学校名 文京区立誠之小学校

対象学年 第3学年

① 学習指導案

プログラム	No.11 「 地域プランナーになろう 」
単元名 (全40時間)	みんな見て！見て！！「西片」いい町、こんな町
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが暮らす町に愛着をもたせる。 ・自分たちが暮らす町の「景観」を知り、またその景観を大切にすることを育ませる。 ・自分たちが暮らす地域の景観のよさに気付かせ、人によって考え方や見方に違いがあることを知らせる。 ・情報を効果的に処理したり、伝えたりする方法を身に付けさせる。 ・よさを活かしていくために必要なことを話し合おうとする力を身に付けさせる。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題の設定 2 情報の収集 3 整理・分析 4 まとめ 5 発表
参考資料	参考資料 西片まちあるき(地緑法人 西片町会 発行)
準備品	準備品 学習用端末
実施場所等	実施場所 本校学区(西片町、本郷、向ヶ丘)

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
5 時 間	<p>1 課題の設定</p> <p>(1) わたしたちが住む「西片」は、どんな歴史をもつ町なのか、昔はどのような町だったのか、家の人や地域の人にインタビューをする。</p> <p>(2) インタビューした内容を共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西片の町に興味をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を通して得た情報や、他者からの情報を基にして、課題を設定できる。

	<p>(3) わたしたちの住む町「西片」には、町としてどのような課題がありそうか話し合う。</p> <p>(4) 課題となっているのではないかと考えたことが、実際に課題となっているのか確認するために、町めぐりを行う。</p>		
<p>大好きな「西片」の町には、課題があるのか調べよう。</p>			
	<p>(5) 町めぐりを行ったことで、「西片」の町に課題は見付からず、素敵な街だということに気付く。</p> <p>(6) さらなる情報を収集するために、再度町めぐりを行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・地域への愛着を深め、これからも地域の方とすすんで関わり、地域のために自分ができることを続けようとする意欲をもつことができる。
<p>大好きな「西片」の町を、多くの人に知ってもらおう。</p>			
<p>14 時 間</p>	<p>2情報の収集</p> <p>(1) 得た情報を共有し、整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の塀や壁、お店のディスプレイや看板、見慣れたはずの街並みから多くの景観を発見できるように視点を与える。 	

5 時 間	<p>(2) 「西片」の町は大変美しく歴史があり、地域の人々に長く愛されてきた町であることを知り、その魅力を多くの人々に知ってもらえるように、アピール方法を話し合う。</p> <p>(3) 課題設定場面とは違う視点で、再度インタビューを行う。</p> <p>(4) 町の景観を意識しながら、町めぐりを行い、自分のおすすめの西片百景を見付け写真撮影をする。</p>	<p>・インタビューをする際の視点を与える。</p> <p>① なぜ、この町を離れずに、長く住み続けているのか。</p> <p>② 先輩方のおすすめの景観はどこか。</p> <p>③ 失ってほしくない、この町のよいところはどこか。</p> <p>④ この町のお気に入りの場所はどこか。</p> <p>・時間帯や季節によって、町の見え方が違うことに気付かせる。</p> <p>・人によって、お気に入りの景観が違うことに気付かせる。</p> <p>・同じ景観も人によって見え方が違うことに気付かせる。</p> <p>・「西片」の町に建つ、母校誠之小学校も景観の一つであることを気付かせる。</p>	
	<p>3整理・分析</p> <p>(1) たくさんの写真を場所ごとに整理する。</p> <p>(2) 撮影者に、景観を選んだポイントを聞き、分析する。</p>	<p>・景観に何を感じ、何を思ったのか分析させる。</p> <p>・面白いと感じた理由は何か分析させる。</p>	<p>・収集した情報について、比較・分類等の施行を駆使して、整理・分析するこ</p>



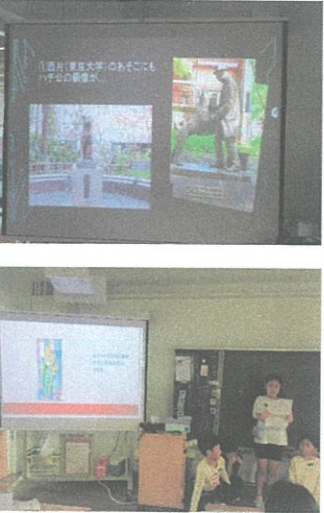
	<p>(3) 時間帯によって、「西片」の町の見え方に変化があることを分析する。 選んだ「景観」の一番伝えたい角度や時間帯などを分析する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つまらないと思った理由は何か分析させる。 	<p>とができる。</p>
<p>13 時 間</p>	<p>4まとめ・発表</p> <p>(1) 選んだ「景観」の写真を通して、伝えたいことを表現する。</p> <p>(2) ポスターを制作する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詩や川柳、俳句などで表現できることを知らせる。 ・キャッチコピーが表現の一つの方法であることを知らせる。 ・自分たちの思いだけでなく、長く町に住む人々の思いを入れることも一つの方法であることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習で得たことを基に自分の考えや思いを振り返り、今後の自分について考えることができる。
<p>3 時 間</p>	<p>5振り返り</p> <p>西片の「景観」を維持、継承、改善するために、これからどんな活動をしていきたいか振り返り、次の課題へつなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「景観」とは、対象となる風景や景色があり、それを見る人がいて、それを見る人の心に現れる景色だと気付かせる。 	

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 文京区立誠之小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
	教室	<ul style="list-style-type: none"> 初めて総合的な学習の時間を学ぶため、どのような学習をしていくのかオリエンテーションを行った。 		初めての総合的な学習の時間に興味関心をもっていた。
	根津神社	<ul style="list-style-type: none"> 地域にある根津神社の「つつじ祭り」に参加し、「景観」の美しさを知らせた。根津神社だけでなく、そこに行くまでの街並みの美しい景観にも目を向けるようにした。 	 	満開に咲いていたつつじの美しさだけでなく、坂を活用して植えられていることで、美しい景観につながっていることに気付いていた。
	学区内	<ul style="list-style-type: none"> 実際に町を歩くことによって、自分たちの住む町をもっとすてきな街にするために、課題発見のために街歩きを行った。 	 	自分たちの住む町には、古くから残る建物が多くあること、坂道が多く坂の下から見る街並み、坂の上から見る街並みに違いがあることに感心していた。

			
<p>白山神社</p>	<p>・地域にある白山神社の「あじさい祭り」に参加し、「景観」の美しさを再度確認した。4月に参加した根津神社だけでなく、白山神社に行くまでの街並みにも目を向けるように指導した。</p>		
	<p>・自分のおすすめの景観の写真を撮影した。 (夏休みの課題)</p>		
	<p>・たくさんの写真を場所ごとに整理し、撮影者に、景観を選んだポイントを聞き、分析した。時間帯によって、「西片」の町の見え方に変化があることを理解した。</p>		<p>家族と相談したり、自分が探したりした、おすすめのことを、朝、昼、夕方など時間帯を変えて撮影した。自分が撮影した写真に対して、感嘆の声が上がると子供たちは喜んでいました。</p>

- キャッチコピーをグループごとに考え、ポスターを完成させた。



自分たちが作成したポスターができあがり、大変喜んでいました。業者の力を借りたことにより、本物のポスターが仕上がったことは子供たちにとって、よい経験となった。

また、150周年の式典の際に掲示させていただき、地域の方々の目にも触れ、喜んでいただけました。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・実際に町を歩くことで、普段の生活の中では気付かない点に着目できるようにした。・地域に長く住む方の話を聞くことで、見ただけではなく、「聞いたこと」を表現できるようにした。・「自分のおすすめの景観」を撮影することを、夏休みの課題にしたことで、一日の長い時間の中で撮影の選択ができるようにした。また、場所を選ぶ際や撮影時のアングルの決定などの場面で、家庭の力を借りられるようにした。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">・3年生にとって、1枚の写真に対して効果を与えるキャッチコピーの作成が難しかった。しかし、地域の方の話を聞いたことで、イメージがわき、各グループで自分たちの感じたことを短い言葉で表現することができた。
<p>(3) 児童の反応</p> <p>自分たちが実際に撮影をして、キャッチコピーを考えて、ポスターとしてレイアウトしたものが、本物のポスターとなってでき上がってきたときの表情は、最高の笑顔でした。特に、自身の写真が選ばれた児童は大変喜んでいました。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>① 担当教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・今回初めて、「景観」の学習を行った。今まで町から景観に発展した学習を行ってこなかったため、大変勉強になった。同時に、自分自身が「景観」に目を向けるようになった。・写真撮影する際にも、「景観」を意識するようになった。また、景色によって一つの「景観」への思いが変わることを知った。・「景観」のみならず、そこに映るものの歴史的背景によって「景観」への思いが深まることを感じた。 <p>② 担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・このような助成金の制度を初めて知った教員が多かった。・ポスターのでき上がりのクオリティーの高さに感心していた。
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>今後、景観写真として撮影した場所や建物とゆかりのある人物に焦点を当てて、調べ学習を深めていく。例えば、今回児童が口にしたのは、「西片の町は、とても夕焼けがきれいだ。」といい、夕焼けの空と西片の町の建物を入れた景観写真を撮影してきた児童が数名いた。童謡「夕日」の作詞家が本校（誠之小学校）の卒業生であり、西片に在住していた時の作品と聞いて、関連付けた調べ学習が可能であることを実感した。</p>

